公益社団法人　北海道看護協会後志支部だより

手帖

第 65 号

2022 年 8 月　発行

副支部長挨拶

後志支部　副支部長

北海道社会事業協会　余市病院　守田　明美

新型コロナウイルス感染症の収束の兆しが見えない中、医療現場・介護の現場をはじめとするあらゆる場の最前線で、感染症対策に力を尽くし、地域医療を支えている看護職の皆様に敬意を表します。

医療現場も私達の生活も「新しい日常」が求められ、3 年が経過しようとしています。その中で地域のネットワークや情報共有が一層大切であると考え、 充実した支部活動を展開できるよう努めてまいりたいと思います。

昨年度よりオンライン形式の研修導入に向け、役員・ 委員会で協議し、多くの方々にご参加いただけるよう研修会の企画を考えてきました。今年度は教育委員企画の「アドバンス・ケア・プランニング」「リーダーシップ研修」、看護師職能委員会企画で「認知症ケア」、後志地区看護管理者懇談会の開催が決定しております。

地域の中で、看護職が対象になる人々の生命・暮らし・尊厳を守り支えることができるように、また、このような環境の中ではありますが、広報紙を通して後志地域でがんばっている姿を、皆さんにお伝えできればと考えております。

会員のみなさまには、今後とも支部活動へのご協力をよろしくお願いいたします。

後志支部　働き続けられる職場づくり推進委員会

施設紹介リレー第２回　北海道社会事業協会岩内病院

当院はベッド数 172 床（現在 140 床稼働）で、岩宇４か町村（岩内町、共和町、泊村、神恵内村）に加え、寿都町、黒松内町、島牧村からも広く患者様を受け入れており、西後志地域における基幹病院として 24 時間医療を提供しています。

病室の窓からは日本海と積丹半島を一望でき、水平線に沈む夕日はとてもきれいで、夏から秋にかけての夜の海にはイカ釣り漁船の漁火が幻想的に点々と浮かびます。また毎年 8 月に開催される怒涛祭りには海から大空に打ち上げられる花火を一望する事もできます。この日ばかりはと、就寝時間を遅らせ窓際に並び、興奮気味に笑顔で会話される患者様もいらっしゃいます。入院治療や療養のストレスから一瞬でも解き放たれることのできる景色は最高です。

院内の活動としては、ここ数年で、ICT・AST・医療安全転倒転落・せん妄対策チームの立ち上げや、褥瘡回診の見直しを図り、多職種チームでの活動を開始しています。新たな知識も必要となり、つまずくこともありますが、一歩ずつ協力しながら前へ進んでいます。数年後、どのような体制が確立しているのか楽しみです。先日、コードブルーの模擬訓練を行いました。集まった職員は、チームワーク良く迅速に BLS を行いました。

コードブルー模擬訓練

岩内町は、海と山に囲まれた自然豊かな町です。休日には、焼き肉やバーベキューなど、新鮮な食材でお腹も心も満たし、疲れを癒やしています。冬はパウダースノーを堪能できるスキー場もあり、休みを合わせてキャットツアーに参加するなど、交流を深めています。小規模な病院ならではのチーム力は、このような関わりからも深まっています。近年、COVID-19 感染対策のため自粛が余儀なくされているのは残念ですが、スタッフ一同力を合わせ乗り越えていきたいと思います。

ソフトボール部

スキー・スノーボードで

医師・看護師・コメディカルスタッフと交流

余市協会病院　新人紹介

今年は4名の新人ナースが入職しました。少しずつ病棟にも慣れ、さまざまな目標を抱いて頑張っています。抱負と共に現場でのフレッシュな笑顔をいただきました！

4月から後志に来て楽しさと不安の毎日ですが、一人一人の患者さんに合った看護を実践していけるよう日々頑張っています。

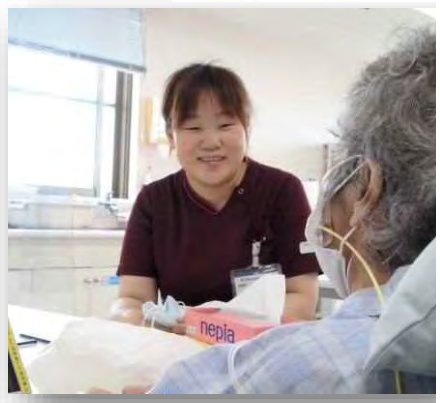
（Y・O）

患者さんに安心して入院生活を送っていただけるように、不安なことをしっかりと聴いて信頼される看護師になりたいです。自分の目指す看護師像に近づけるように努力して成長したいと思います。

（K・K）

現在急性期病棟で働いていて、様々な患者さんと関わっています。今後も学ぶ姿勢を忘れずに、患者さんの心に寄り添うことのできるような看護師を目指して働いていきたいと思います！

（S・H）



6月から入職しました。
地域の医療に貢献し、患者さん一人一人が安心・安全・安楽に過ごせるような看護を行っていきたいと思います。

（R・T）

岩内協会病院　新人紹介

今年度は、3名の仲間が加わりました。

分からないことばかりですが、先輩方にたくさん教えていただきながら日々頑張っています。
今後も色々なことを学び、知識・技術を身につけ看護師として成長していきたいです！
（S・F）

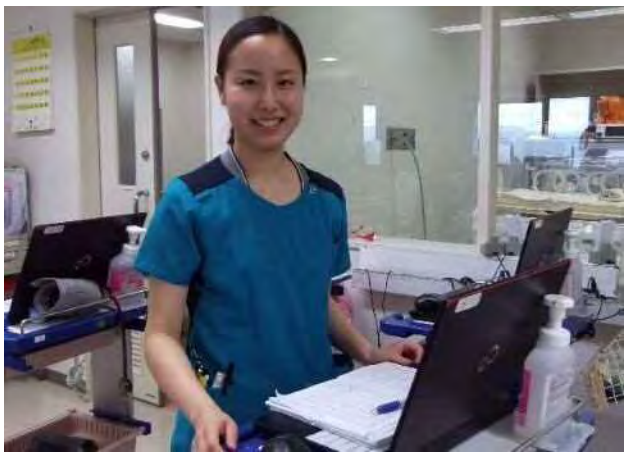
悩みや不安なことは相談し、スタッフの皆さんのサポートを受けながら日々成長することができています。
先輩方から看護を学びながら、患者さんに寄り添った看護ができるよう頑張ります！
（M・E）

休日は岩内の美味しい海産物を食べ、きれいな夕日を見てリフレッシュしています。日々たくさんのことを学び、感謝の気持ちを忘れず、何事も前向きに頑張ります！
（I・K）

倶知安厚生病院　新人紹介

倶知安厚生病院には今年度11名の新人看護師が入職されました。各病棟の代表者さんから素敵なメッセージが届いていますのでご紹介します。

第６病棟　A･Kさん
働くことの嬉しさはありますが、患者さんと関わる中で悲しみや不安など色々な感情をこの数か月で感じています。一人一人に寄り添った看護師を目指します。



B3病棟　M･Kさん
日々、学ぶことの多さに大変だと感じることもありますが、患者さんの笑顔や優しさに励まされています。患者さんとの時間を大切に心に寄り添っていきたいです。

A2病棟　R･Sさん
自分の判断が患者さんに影響を及ぼす怖さもありますが、看護師でなければ感じられない嬉しい瞬間もあり、看護師になってよかったと日々感じています。

Ｂ４病棟　R･Kさん
とてもやりがいのある仕事だと実感しています。自分の行動や観察することの大切さを再認識する毎日です。症状が改善し、回復されていく患者様の姿を見られることがとてもとても嬉しいです。

編集後記

働き続けられる職場づくり推進委員会

◉新しい委員も加わり、新メンバーで半年ぶりの夏号発行です。少しずつ編集作業にも慣れて、今年は年2回の発行予定です。新人さんや病院紹介を楽しんでいただけたら幸いです。　（委員長　清水田幸子）

◉皆様からのご協力をいただき、無事に発行することができ、深く感謝いたします。楽しく読みやすい誌面作りを心がけ取り組んでおります。ご意見・ご感想がございましたら、ぜひお寄せください。　（委員　阿部　真弓）

◉初めての委員活動で右も左もわからず不安だらけでしたが、皆様のご指導・ご協力のもとで前向きに楽しく取り組むことができました。これからも現場の声をお届けしていきます。　（委員　川口　知里）